

イルカ通信

隔月1回発行
バックナンバーは無料でダウンロード
できます
(下記参照)

「識別してみよう。背ビレから分かる小笠原のイルカたち」

今回は背ビレの特徴から個体識別をしてみようという企画です。水中からも船の上から見分けられるように、ぜひ覚えてみてください。

個体識別番号：#5 (♂)



2001年からほぼ毎年確認されていて、背ビレの先端が二股に分かれているのが特徴。伊豆島での目撃例もあり、父島との間を行ったり来たりしているようです。

個体識別番号：#9 (♀)



2002年から毎年確認されている個体。背ビレ後縁の欠けが特徴で、これまでに4頭を出産。伊豆島での目撃例もあるが、ほとんどが父島で目撃されています。通称ザック。

個体識別番号：#87 (♂)



2004年に初確認。背ビレ先端が大きく欠損しているのが特徴。2010年に体と背ビレが大きく傷ついた状態で発見されましたが、今ではすっかり元気に泳ぐ姿を見せています。

個体識別番号：#118 (♂)



2005年に初確認。それ以降、毎年父島で確認されていて、背ビレの後縁が「くの字」に凹んでいるのが特徴です。#87と並んで、船上からも識別しやすい頭です。